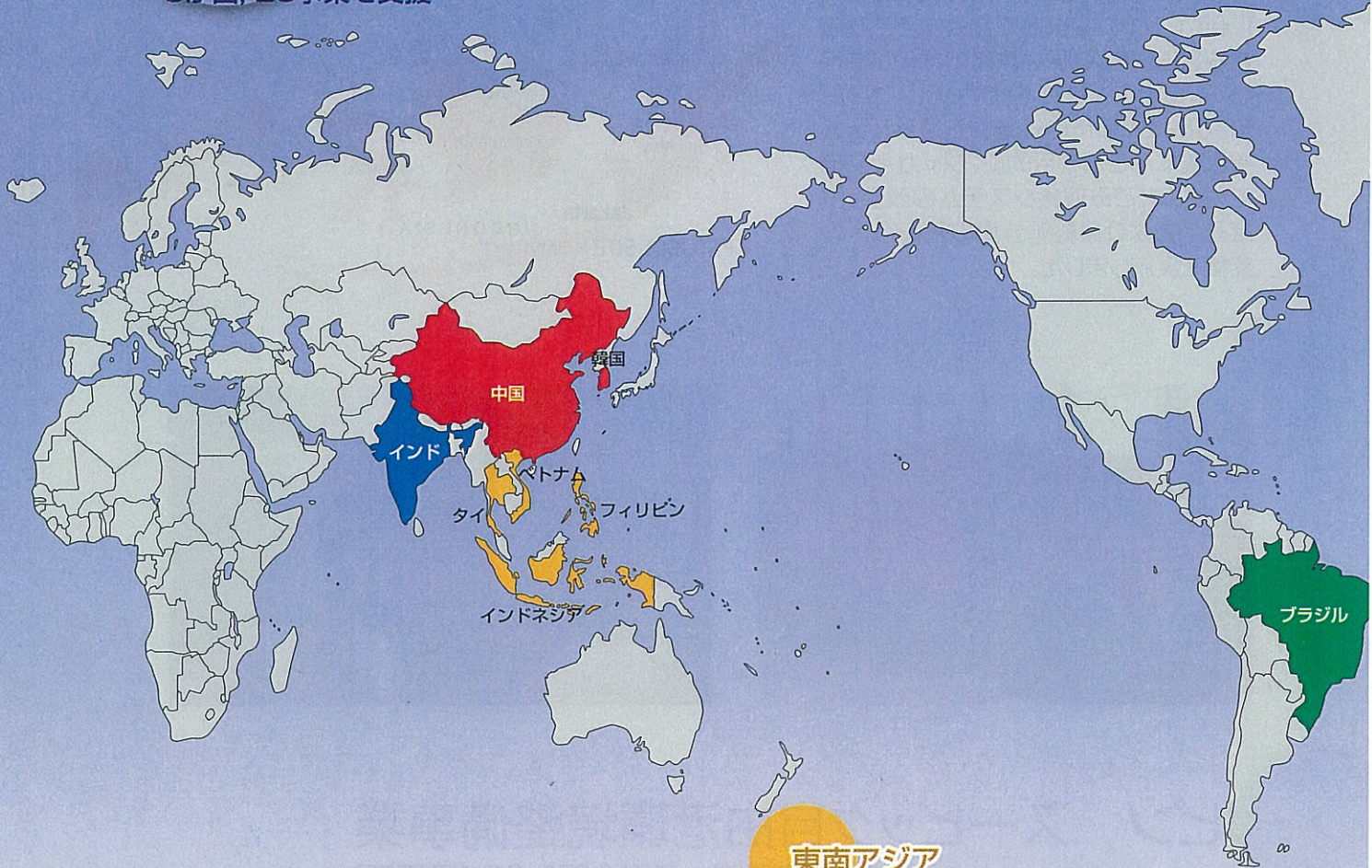
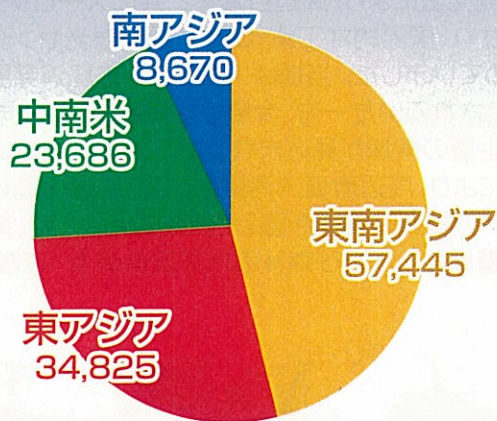


# JBIC円借款による 廃棄物分野プロジェクト

8か国, 23事業を支援



地域ごとの廃棄物分野円借款実績 (百万円)



## 東南アジア

国名	案件数	(百万円) 事業費合計
インドネシア	3	22,912
タイ	2	14,802
フィリピン	7	18,214
ベトナム	1	1,517
合計	13	57,445

## 南アジア

国名	案件数	(百万円) 事業費合計
インド	1	8,670
合計	1	8,670

## 東アジア

国名	案件数	(百万円) 事業費合計
中国	6	29,053
韓国	2	5,772
合計	8	34,825

## 中南米

国名	案件数	(百万円) 事業費合計
ブラジル	1	23,686
合計	1	23,686

# インドネシア ジャカルタ都市廃棄物処理事業

(1993年度承諾、承諾金額3,863百万円)

1980年代から1990年代前半にかけ、ジャカルタ市では急速な都市化が進行し、それにつれて人口が急増しました。これに伴い、ジャカルタ市で発生するごみの量も急速に増え、居住環境の悪化が進行していました。これを受けJBICでは円借款により、都市の廃棄物処理システムを改善することを目的に、ジャカルタ市を対象に、ごみ収集システムの改善、中継基地および最終処分場の整備等への支援を実施しました。



# フィリピン スービック自由港環境整備事業

(1997年度承諾、承諾金額1,034百万円)



1992年に米国から返還されたスービック米海軍基地跡地は、同年制定された基地転換開発法により、周辺自治体と共にスービック特別経済自由港に指定され、国際的な工業・商業・金融・観光センターを目指して開発を進めていました。当地は、フィリピンの経済発展の中心の一つとして期待されていた一方、今後の投資と人口の増加による固形廃棄物の発生量の急増が見込まれていたため、JBICは世界銀行との協調融資により、周辺環境の汚染の防止・周辺住民の福祉の向上・フィリピンへの投資の促進を図ることを目的として、固形廃棄物の処理施設の整備と海洋及び森林の自然環境保全への支援を実施しました。

